
事業計画書
収支予算書

令和5年度

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

公益財団法人 発達科学研究教育センター

令和5年度事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I. 公益目的事業

幼少年期の子どもの発達の研究に対する助成及びそれに関連する事業。

1. 研究助成事業

- ・人間の発達に関する基礎的研究に従事する若手研究者を対象とした研究助成を行う。
- ・研究助成額は一件あたり50万円を限度とし、年間予算総枠は500万円とする。
- ・助成対象は40歳以下、准教授以下、グループ研究の場合には全員がこの要件を満たすことを必要とする。
- ・今年度助成の募集テーマは、「幼少期の子どもの可能性を引き出し、心身の調和のとれた発達をはかる」ことを主目的とする研究であることとする。

2. 成果発信事業

①研究助成成果の発信

- ・紀要の発行

研究助成の成果として最終報告及び中間報告などを掲載した「紀要」Vol 37を編集、刊行する。

- ・ポスターセッションの実施

令和4年度受賞者の最終報告を、書面による「紀要」掲載と併せ、口頭によりポスターセッションで発表する。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、ポスターセッションの開催が難しい場合はオンライン動画セッションを開催する。

②ホームページ

- ・昨年度に改修した箇所の構成・機能を再点検する。

③国際交流事業

- ・日本発達心理学会と「国際ワークショップ」講演会を共催する。

II. 収益事業

乳幼児発達検査の普及販売事業。

1. 発達検査販売事業

- ・乳幼児発達スケール(KIDS)、随意運動発達検査の販売及び普及活動を行う。
- ・KIDS改訂のための予算規模やスケジュールの策定、研究体制の検討を進め、改訂に向けた準備を始める。

以上

収 支 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	(16,352,439)
基本財産運用収入	16,352,439
②事業収益	(8,000,000)
発達検査販売収益	8,000,000
③雑収益	(100)
雑収益	100
経常収益計	24,352,539
(2) 経常費用	
①事業費	(16,112,814)
研究助成費	5,000,000
情報収集費	10,000
会議費	340,000
旅費交通費	235,000
印刷製本費	2,929,603
通信運搬費	590,000
支払手数料	30,000
広告宣伝費	134,600
諸謝金	333,411
国際交流開催費	100,000
業務委託費	66,000
給料手当	5,100,000
賃借料	1,234,200
雑費	10,000
②管理費	(6,580,311)
給料手当	900,000
福利厚生費	700,000
役員報酬	1,101,631
会議費	630,000
旅費交通費	275,000
通信運搬費	140,000
維持費	447,480
業務委託費	1,400,000
支払手数料	80,000
印刷製本費	120,000
賃借料	217,800
水道光熱費	120,000
減価償却費	0
租税公課	178,400
雑費	270,000
経常費用計	22,693,125
当期経常増減額	1,659,414
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	-
(2) 経常外費用	
経常外費用計	-
当期経常外増減額	-
当期一般正味財産増減額	1,659,414
II 指定正味財産増減の部	
基本財産評価益	-
当期指定正味財産増減額	-

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

当年度における借入金の予定 なし

2. 設備投資の見込みについて

当年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定 なし